

## 国語総合（5単位）

### 1.現代文分野（2単位）

#### （1）教科書を「読む」。

単元「小説一」の「羅生門」「愛されすぎた白鳥」を精読する。その上で、二作品を通じて気がつくことを前回同様に単元のまとめとしてノートに記す。（唯一解を求めず、ものの見方を広げる、考えを深めることを意識する）

学習の流れ 1 本文を読む。

初見の読解（まとめ・感想）をノートに書く。（その段階の自身の読解レベルの記録）

2 語句の意味調べや漢字学習など、ノートなどを活用して基礎的な語彙力を高める。

3 本文の下にある問い（脚問）の答えを教科書余白に記入してみる。

4 各作品の最後に学習の道標（「予習」「構成」「読解」「表現」など）があるので、ノートにまとめる。

5 単元を通じて「ものの見方、感じ方、考え方を豊か」にすること。

#### （2）パーフェクト常用漢字を毎日1回分ずつ学習する。（学習習慣の確立）

春課題・四月課題に引き続き、4級第34回まで学習をすすめ、終わったら繰り返す。定着させること。

### アドバイス

やった「時間」ではなく、「習得」したかどうかで自身の学習のあり方を見つめましょう。例えば、登校時この範囲のテストがあったとしても、すべて読み書きできるというのが、正しい学習のあり方です。点数ではなく、「習得」したかを常に判断基準にしてください。そのためにどうするか。各人、自分に適した学習方法を模索してください。

### 2.古典分野（3単位）

#### （1）教科書を「音読」する。

1.『伊勢物語』『芥川』『東下り』『筒井筒』『梓弓』

2.『大和物語』『鹿の声』

よどみなく、すらすらと読めるまで練習すること。

→ 正しく歴史的仮名遣いの読みや漢字が読めているかなど、どう判断しますか。間違っていると後で困ります。では、どうするか。工夫して「学び」の質を高めることが学力だと思います。

#### （2）『便覧』の使い方を覚える。

「新訂総合国語便覧」（第一学習社）

高等学校では三カ年使う。また、教養本としての側面もあるので、「便覧」の特質を捉える。また、単元「物語」が終わるので、『竹取物語』『伊勢物語』『大和物語』のまとめとして、「便覧」で各作品を調べ、古典の文学ジャンル「物語」とはどのようなものであるか、「便覧」を参考にノートにまとめること。

#### （3）文法学習

1.「体系古典文法」（数研出版）を春課題のやり方に引き続き、36ページまで学習すること。

2.上記の定着を確認するため、「体系古典文法 学習ノート」を19ページまで解いて確認すること。

#### （4）古文単語

「核心古文単語351」（尚文出版）第二章（106ページまで）を読み、単語帳を使いこなすこと。